

## 「第4回 徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会」が開催されました

徳島県内では、兵庫県豊岡市周辺以外では全国で初めてコウノトリが野外繁殖に成功しました。また、大陸から飛来・越冬するツル類の数が増加していることから、全国的・国際的に重要な生態系ネットワークの拠点として注目が高まっています。

こうした背景から、平成29年10月に吉野川流域における河川を軸とした生態系ネットワーク形成の実現化に向けて、多様な主体との連携・協働方策等を検討するため、「吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会」を設立しました。現在、コウノトリ・ツル類は、徳島県内の各流域で飛来が確認されるようになってきていることから、令和3年1月には発展移行させ、徳島県全域を対象とした「徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会」を設立しました。今回は、「第4回徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会」を開催しました。



- 1.開催日時：令和6年2月22日（木）15：00～17：00
- 2.参加者：協議会構成員及び徳島県内の経済・観光等の有識者
- 3.開催場所：徳島県教育会館 ホール
- 4.議 事：

（1）規約について

（2）徳島県流域コウノトリ・ツル類の舞う生態系ネットワークの取組状況について

（3）今後の取組について



○ これまで、鳴門地区生息環境づくりワーキングや旧吉野川津慈地区管理運営あり方検討ワーキングにおいて、旧吉野川津慈地区河川整備事業地の湿地環境が担う役割や管理運営のあり方等を検討してきました。今後は、新たに設置した旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキングにおいて、より良い湿地環境の創出並びに利活用や管理運営の具体化を行います。

○ デジタルサイネージ等での発信を想定し、普及啓発パネルを動画として作成。今後開催される大阪・関西万博、大鳴門橋自転車道の開通の動き等も見据えて、普及啓発に向けた活用の検討を行います。